



板橋区景観賞 受賞(第4回)

加賀まちづくり協議会

「30年以上の活動実績、街の価値を高め、まちづくり
や景観で評価が高い活動団体の事例」

- 活動場所 加賀一・二丁目地区
- 活動を始めた時期 1995年(平成7年)頃

江戸時代、加賀藩前田家の下屋敷があったことで知られる当地区は、景観形成重点地区「加賀一・二丁目地区」であり、景観・まちづくりに積極的に取り組んでいる団体である。

平成4年の加賀まちづくり懇談会、平成5年の加賀まちづくり検討会の活動から始まり、1995年頃から30年以上の活動実績を有し、活動開始より大規模敷地の土地利用転換時の計画協議とまちづくりのルール化により、景観・環境・安全安心に配慮した街並み形成に取り組んできた。まちづくり計画案(H8)の策定、地区計画(H14)、景観形成重点地区(H25)にも寄与、街並みを形成するための公共空間整備・利活用指針(R5)も策定する。近年は、エリアマネジメントを念頭に計画調整や維持管理の提案、板橋区都市づくり推進条例に基づく「承認まちづくり協議会」として様々なまちづくりに取り組んでいる。

協議会の構成は、会長・名誉会長(兼任)1名、名誉会長1名、副会長5名、他会員約55名(応募時点)で、約48haの広範な地区計画及び景観形成重点地区内において、数々の開発業者との対面協議できめ細やかな整備誘導を行い、優れたまちなみ景観形成を実現している。

その実績から、美し国づくり景観大賞「特別賞」(H29)、都市景観大賞「特別賞」(H30)、第18回住まいのまちなみコンクール「国土交通大臣賞」(R4)のなど数々の受賞がある。